淡海の市民活動・ネットワーク情報交流誌
Collaboration Paper for Voluntary Network in Ohmi

Ohmi net

No. 53
5・6月号

おうみネット

●発行日／2006年5月1日　●発行所／(財)淡海文化振興財団

この日なんの日？

月 MON	火 TUE	水 WED
5月 1 ユニセフの日	2	3 憲法記念日 世界プレス自由の日
8 ★	9	10 バードデー（愛鳥の日）
15 国際家族デー ★	16	17
22 ガール・スカウトの日 ★	23	24
29 ★	30 ゴミゼロの日 環境美化行動の日	31
5 世界環境デー ★	6 飲み水の日	7
12 ★	13	14
19 ★	20 難民の日	21
26 国際薬物乱用・不正取引防止デー ★	27	28

CONTENTS

■特集：淡海とぴっくす

「あなたは団塊の世代に期待しますか？」

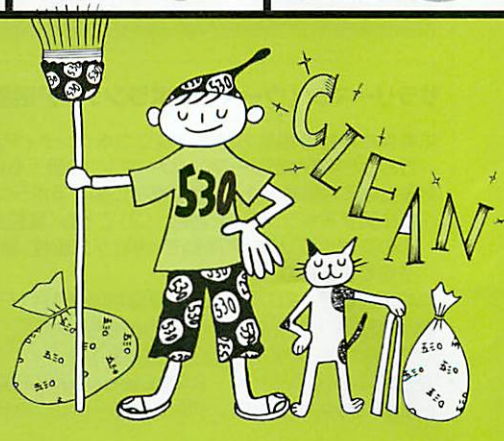
地域に生きる～団塊世代に贈るNPO的生活のすすめ～ 2

■支える・つなぐ・結ぶ情報BOX 1 10

■孫の手ナビ 6
【そこが知りたい!NPO運営術 VOL.1】
【Sekenよし!】キリンビール株式会社

■元気NPO探し隊 7
●ネグロス島支援の会（COCO椰子）（国際）
●淡海の杜の会（環境）
●特定非営利活動法人あさがお（福祉）

■Ohmi net INFORMATION 5月・6月 9



淡海ネットワークセンター

※このページは1ページと10ページで1つのCONTENTSとなっております。掲示用としてお使いいただけます。

助成金情報

トヨタ財団「ネットワーク形成プログラム」

(1)「アジア隣人ネットワーク」プログラム
『「人と人とのつながり」がアジアの可能性をひらく』」を基本テーマに、アジアに生きる人々がお互いの個性、特性を認めながら(多元性)、知恵を出し合って(相補性)、国際的なアジアの視野に立って共生していく(協働性)ことに取り組むためのプロジェクト、特にその企画段階や実施段階での「人と人とを複合的につなげていくプロセス」を支援します。具体的には、研究者、実務家、実践家による、国境を跨いだ出会い、対話、協働のための様々な活動が対象となります。
助成金額●1件あたり2年間で500万円を上限とします。
応募期間●4月1日(土)～5月20日(土)(消印有効)
(2)東南アジア研究地域交流プログラム(SEASREP)
東南アジア諸国の人文・社会科学分野の研究者間における相互理解の促進、およびネットワークの確立、ひいては東南アジアを一つの地域としてとらえるような東南アジア研究の促進を目的として、1.東南アジア語学研修カラーシップ、2.ルイサ・マリャリ・フェローシップ(修士・博士)、および3.地域共同事業助成の3つのサブ・プログラムを行っています。本プログラムは、国際交流基金との共同事業です。また、プログラムの企画、運営は東南アジア人の研究者からなるSEASREP財団によって行われています。
公募期間●9月30日まで

㊐財団法人トヨタ財団　〒163-0437　東京都新宿区西新宿2-1-1　新宿三井ビル37階
TEL:03-3344-1701　e-mail:admin@toyotafound.or.jp
http://www.toyotafound.or.jp/default.htm

第37回博報賞

内容●下記4部門における教育を通して、小・中学生を中心とする児童生徒に対し、「豊かな人間性育成」に貢献した団体(小学校、中学校、研究団体、ボランティア団体など)個人(実践活動を推進されている先生、研究者、ボランティアの方々)に贈られます。
(1)国語・日本語教育部門　(2)特別支援教育部門　(3)文化教養育成部門　(4)教育活性化部門
贈呈数●4部門の団体、個人合わせて25件前後
表彰●対象4部門の団体・個人の受賞者に正賞及び副賞金を贈呈いたします。
・正賞賞状　・副賞団体100万円・個人 50万円(個人には併せて記念品贈呈)
・文部科学大臣奨励賞
●受付期間:4月1日(土)～5月31日(水)(財団着)

㊐財団法人博報児童教育振興会
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3丁目22番地 TEL:03-3233-6788　FAX:03-3233-6325
e-mail:hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp
http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/index.html

■みずほ教育福祉財団「老後を豊かにするボランティア活動資金」

助成対象●地域社会で高齢者のための活動を進めている幅広いボランティアグループ(住民参加型在宅福祉サービス団体等を含む)で、次の要件を満たすもの。
①ボランティア数　10人～50人程度。②結成以来の活動実績2年以上。
助成内容●①地域の活動で内容が先駆的かつ他の範となるもの。②今日のニーズに対応死した内容で継続性の高いもの。③活動の方法に工夫が見られ、他に普及したいもの。
助成金額●1グループにつき10万円を限度
助成団体数●150グループ程度を予定　申込期限●5月31日(必着)

㊐財団法人みずほ教育福祉財団福祉事業部(藤井)
〒100-0011東京都千代田区内幸町1-1-5　みずほ銀行本店内
TEL 03-3596-4532/FAX 03-3596-4531

サラリーマン(ウーマン)ボランティア活動助成

応募資格●社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするサラリーマン(ウーマン)の個人もしくはそのグループ。
対象となる活動●(1)高齢者福祉に関するボランティア活動　(2)障害者福祉に関するボランティア活動　(3)こども(高校生まで)の健全な心を養うための交流ボランティア活動で、内容が先駆性、継続性、発展性があり、効果が予測できるもの
助成金額●1件 20万円以内　募集期間●4月1日～5月31日(財団必着)

㊐財団法人大同生命厚生事業団事務局
〒550-0002大阪市西区江戸堀1-2-1
TEL:06-6447-7101　FAX:06-6447-7102
e-mail:info@daido-life-welfare.or.jp　http://www.daido-life-welfare.or.jp

イベント情報

講演「重症患者の在宅療養の実態に迫る」京都新聞社会報道部連載記事「折れない葦」取材班による講演とトーク

▶5月13日(土) 13:30～15:30

場所●滋賀県成人病センター研究所講堂(守山市守山5-4-3)
参加費●無料

㊐NPO法人滋賀県難病連絡協議会
TEL:077-582-9246/FAX:077-582-9246
e-mail:siga-nanren@mug.biglobe.ne.jp

長浜おやこ劇場 第112回例会「お化けのビヨヨン」ーねぎぼうずSAYOー

▶5月14日(日) 14:30～15:30

内容●おばけのテストは人間を怖がらせることです。テストに合格したいおばけのビヨヨンは、一生懸命に菜々子ちゃんを怖がらせます。でも、菜々子ちゃんは怖がってもくれない。泣いても笑ってもくれない。どうして?
場所●六角館(長浜六荘公民館)
参加費●2,700円(会員は無料)
※会員募集中!
生の舞台鑑賞が好きな方、地域や年齢を超えた友達がほしい人なら、誰でも会員になれます。対象は4歳以上。月900円の会費で、人と人とのふれあいを大切に育てましょう。

㊐長浜おやこ劇場
TEL/FAX:0749-64-1527

木のいきもの展

▶6月3日(土)～6月22日(木)

内容●いきもの(動物)をテーマにした木製作品の展示会です。
見て懐かしい、木のあたたかみの感じられる作品、約100点を展示し、森と人の循環型社会をめざします。
会場●多賀町立図書館

㊐高取山ふれあい公園
TEL:0749-49-0635/FAX:0749-49-0637

「猿楽の時代」と「闘茶」

▶6月24日(土)、25日(日)
11:00～16:00

内容●「猿楽の時代」の文化と風習に関する資料を展示します。
6月25日には、当時流行した「闘茶」を行います。
場所●株式会社政所園夢京橋店2階ギャラリー

㊐近江猿楽多賀座事務局
TEL:0749-48-8111

不登校・ひきこもり・ニートにさせない子育て法

▶5月13日(土) 14:00～16:00

場所●滋賀県人権センター(大津市におの浜4-4-14)
参加費●500円

㊐全国ひきこもりKHJ親の会"グッドハート滋賀"
TEL:077-567-1160
e-mail:thmkatou@yahoo.co.jp

草津チェンバーオーケストラ 第3回定期演奏会 ーベートーヴェンツィクルス3ー

▶5月21日(日)
13:30開場／14:00開演

場所●滋賀県立しが県民芸術創造館(旧滋賀県立草津文化芸術会館)
入場料●一般1,000円・学生500円(前売り各100円引き)
出演●指揮:宅間 司／管弦楽:草津チェンバーオーケストラ

㊐NPO法人音楽村事務局(宅間司)
TEL/FAX:077-526-3477
e-mail:takuma@ongakumura.net
URL:http://www.ongakumura.net/index.html

笑いのワークショップ Otsu

▶5月21日(日) 10:00～17:00

内容●自分をさらに良く知り、自分自身の体の笑いが心の開放となる体験
場所●松の実保育園
大津市高砂町15-8(TEL.077-525-1486)
対象●ケアリングクラウンに興味をもっている方
募集人数●30名
参加費●10,000円(昼食代金含む)
募集期間●3月26日(日)～5月8日(土)

㊐ケアリングクラウン トンちゃん一座 石井裕子
大津市日吉台2-24-12 TEL:077-579-3241
e-mail:fusenton@nifty.com

平成18年度企業・団体の社会貢献活動セミナー

▶5月17日(水) 15:00～17:15

内容●企業とNPOの活動についての事例報告を通じて、それぞれの役割をあらためて考え、連携、協働へのきっかけづくりとすることを目的に開催します。
会場●滋賀ビル9階鈴鹿の間
(大津市梅林1-3-10)
プログラム●14:30～／受付
15:00～15:10／開会、オリエンテーション　15:10～17:15／パネルディスカッション「企業とNPO等が連携、協働できること」(仮題)
コーディネーター:深尾昌峰氏(NPO法人きょうとNPOセンター常務理事・事務局長)
パネリスト:法橋聡氏(近畿労働金庫地域共生推進センターセンター長)
成瀬和子氏(NPO法人しみんふくし滋賀常務理事・事務局長)青山裕史氏(油藤商事(株)専務取締役)
17:30～19:30／交流会
定員●80名(先着順／要事前申込)
参加費●無料
申込期限●5月10日(水)

㊐社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会地域福祉部ボランティアセンター担当
〒525-0072
草津市笠山7-8-138
TEL:077-567-3924/FAX:077-567-5160

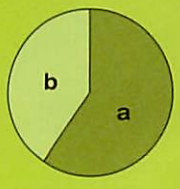
「あなたは団塊の世代に期待しますか？」

地域に生きる～団塊世代に贈るNPO的生活のすすめ～

2007年問題※を前に、団塊の世代にいかに活躍してもらうかをいっしょに考えましょう。

Q1

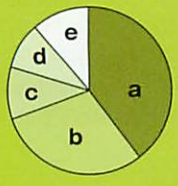
あなたは団塊の世代に期待しますか？



a.はい……59.7%
b.いいえ……40.3%

Q2

地域活動で団塊の世代に担ってほしい役割は？



a.ボランティア……39.6%
b.コミュニティビジネス……29.9%
c.自治会……10.1%
d.NPO ……9.1%
e.その他……11.3%

Q3

団塊の世代が活躍するために一番必要なのは？

a.仲間作り……64.9%
b.情報の提供……20.1%
c.資金援助……3.3%
d.セミナー……2.0%
e.その他 ……9.7%

※2007年問題：1947～1949年に生まれた団塊の世代が一斉に定年退職することから、様々な困難が発生すると予想されている問題。

アンケート：携帯情報メール発信会社「j2メール」協力
回答者 総数154名　男性63名　女性75名　不明16名
10代…3名　20～30歳…28名　31～40歳…54名
41～50歳…36名　51歳以上…15名　不明…18名

【7・8月号のアンケート】
次回7・8月号は「介護保険」をテーマにした巻頭アンケートを実施します。読者の皆さんもぜひ、アンケートにご協力ください。
詳しくはP.9をご覧ください。

ごあいさつ

NPOで学ぶ「自分」人間死ぬまで、現在進行形

厳しかった冬を忘れさせてくれるかのように「新緑の季節」へと、湖国もお色直し。この春から新しい生活をスタートさせた方も多いと思います。私もその一人で、この度、淡海ネットワークセンターの事務局長として就任しました。どうか、よろしくお願いいたします。

私は10数年間シアトルで、日米文化交流に携わってきました。いまでこそ、米国シアトルと言えば、「ICHIRO」のいるマリナーズがある街と答えられる日本人も少なからずいると思いますが、私がシアトルへ留学した1980年代は、シアトルがどこにあるか知らない人も随分多かったので、私は「ICHIRO」がシアトルに行く前の「before ICHIRO」世代と答えています。シアトルはNPO活動も活発で、日米文化交流の仕事やボランティア活動を経験し、NPOが持つ「しなやかな感性」や「新しい公」を担うNPOという存在に感銘を受け、日本帰国後もNPOの研究や活動を続けてきました。今や仕事も趣味もNPOといったところです。

21世紀は「心の時代」、人それぞれにふさわしいライフスタイルを創る時代に入ってきています。これから進むべき道筋を積極的に決めていきたい方には、ボランティア活動やNPOの運営に参加することをお勧めします。多様な価値観やバックグラウンドを持つ老若男女がテーマ参加型で集う「場」で、思ってもみなかった刺激やコミュニケーションの多様さを体験してください。私は、常々NPO活動はお茶の間とお茶室の「あいだ」の関係づくりといっています。気持ちはひとつ、親しき仲にも礼儀あり。自分で考えることに責任を持つ。NPOでの多様な交流を通じて、「自分の型」を見つけてみませんか。

淡海ネットワークセンター
事務局長
浅野 令子

一九四七年生まれの団塊の世代第一期生が定年を迎える二〇〇七年。大量の企業退職者が地域社会に戻ってくると予想されています。特に関西都市圏へ通勤するサラリーマンが多い滋賀では、これまで地域社会との接点を持たなかった人たちが、自らの居場所を求めてＮＰＯやボランティアに活動の場を求めて参加してくると考えられます。

学園紛争の主役として、また企業戦士として各年代にエネルギーを振りまいてきたこの世代は、地域や市民活動にどのような影響を与えるのでしょうか。ちょうどこの世代にあたるお二人に対談していただきました。

お二人はいわゆる「団塊の世代」にあたるわけですが、「団塊の世代」とはどのような世代だと思いますか。

高田　自分が団塊の世代といえるかどうか微妙なところです。厳密に言うと団塊の世代というのは一九四七年から一九四九年生まれを指しますが、私は一九五〇年生まれです。ただ早生まれなので一九四九年生まれの人たちと学年は一緒。自分では団塊の世代だと思っています。

小久保　「企業戦士」「会社人間」というのは、そのとおりだと思いますね。私がそうでしたし、周りを見てもそうでした。「過労死」という言葉が出たのも自分たちです。私は少し早めに今年一月でＩＴメーカーを退職しました。月の残業時間が二百時間にもなり、これではきついと開発からはずれて、関西にやってきてシステム営業、ＳＥをやってきました。

高田　当時は女性は二十五歳までに結婚するというのが世間の見方で、出産後も仕事を続けるということがほとんどありませんでした。女性が働き続ける場は、教員や看護師といった一部の職種に限られていて、私は教員になりました。同級生には企業戦士の妻になった人が多くて、結婚退職して夫を支え続けて今に至るというのが多いですね。

小久保　企業の人はムラ意識が強くて、大企業ほどムラを作って、その中の人間としかつきあわなくなります。彼らには外で話ができる人がいない。以前

●プロフィール●
小久保　弘さん
1947年11月生まれ。NPO法人ライフステージ支援ネットワーク理事。今年1月にITメーカーを早期退職。約10年前に仕事で知り合った「多文化共生センター」の影響から市民活動に関わる。おうみ未来塾第5期卒塾生。

社会背景年表

一九四五／昭和20年
▼第二次世界大戦終結
一九四七／昭和22年
▼全国都市で給食開始
一九五〇／昭和25年
▼朝鮮戦争勃発
一九五二／昭和27年
▼サンフランシスコ平和条約公布
一九五四／昭和29年
▼三種の神器（冷蔵庫・洗濯機・掃除機）
一九五六／昭和31年
▼日ソ国交回復
一九五八／昭和33年
▼インスタントラーメン発売、東京タワー完成
一九六〇／昭和35年
▼カラーテレビ放送開始 ベトナム戦争激化
一九六三／昭和38年
▼ケネディ大統領暗殺
一九六四／昭和39年
▼東京オリンピック開催、東海道新幹線開業
一九六六／昭和41年
▼ビートルズ来日
一九六七／昭和42年
▼三C時代（カラーテレビ・クーラー・車）
一九六八／昭和43年
▼三億円事件
一九六九／昭和44年
▼東大安田講堂事件、アポロ十一号月面着陸
一九七〇／昭和45年
▼大阪万博開幕、よど号ハイジャック事件
一九七一／昭和46年
▼カップめん発売、マクドナルド一号店開店
一九七二／昭和47年
▼沖縄返還、冬季オリンピック札幌大会開催
一九七三／昭和48年
▼第一次オイルショック
一九七四／昭和49年
▼コンビニエンスストア一号店開店

会社で、同じ年代の人たちと生活設計についての研修を受けたことがありますが、みんな退職後は「悠々自適」と言っていました。つまり会社の枠から外れたら目標がないということです。自分はもともとそういうサラリーマン根性が嫌いだったし、特に関西に来てから外部との横の関わりが多くなってきたけれど。十年ぐらい前に仕事の関係で、多文化共生センターという市民団体と出会ったのがＮＰＯと関わった最初です。

高田　男性は退職後悠々自適の生活をイメージしているそうですが、それは生活面の世話を妻がしてくれるという前提があってのことです。妻の介護とか妻に先立たれることを想定しておく必要がありますよ。私は五十歳ぐらいから定年後どうするかなということは考えていました。私たちはとにかく数が多いということで注目されてきましたけれども、ひとくくりにされたくないという気持ちがあります。価値観はそれぞれ違うし、会社勤めの人も全ての人が退職後に濡れ落ち葉になるわけではないと思います。イメージで決めつけて欲しくないですね。

●プロフィール●

高田　恵里子さん

1950年1月生まれ。滋賀県立男女共同参画センター所長。滋賀県教育委員会職員、公立小学校長を経て、2004年から現職。生涯学習の推進に携わった経験から、生涯学習と学習成果の活用についての重要性を感じてはいるが、手話サークルでの活動以外には、本格的な地域デビューはこれから。

会社での意識を持ち込むと市民活動はうまくいかないということは実感しますか。

小久保　ＮＰＯに関わると、この世代の女性は横のネットワークを駆使して、すごく自由な発想をすると感じます。自分でどうするのかを考え行動するという自立心の強さは、女性に感じられますね。

高田　企業人は縦型の組織の動かし方には慣れていますが、地域社会とかＮＰＯとかボランティアというのは違いますのでね。こんな組織はダメだよ、とか、こんな会議のやり方は非効率だとか言って、会社でのやり方を持ち込んではうまく行かないようです。コミュニケーションの仕方が違うんですね。会社でのネゴシエーション、交渉というのは相手をいかに説き伏せるか、こちらの言い分をいかに有利に通すか、という交渉力ですが、地域のコミュニケーションは違いますよね。自分を立たせて、相手も立たせて、一見要領が悪そうだけれども、時間をかけて双方が納得して。ただ、事業型のＮＰＯにとってはマネジメントに長けた人材が加わるのは助かると

一九七五／昭和50年
▼家庭用ＶＴＲ発売、ベトナム戦争終結
一九七七／昭和52年
▼平均寿命男女とも世界一
一九七八／昭和53年
▼新東京国際空港開港、成田空港占領事件
一九七九／昭和54年
▼第二次オイルショック
一九八〇／昭和55年
▼イラン・イラク戦争勃発
一九八一／昭和56年
▼スペースシャトル初飛行
一九八三／昭和58年
▼ファミリーコンピュータ発売
一九八五／昭和60年
▼つくば万博開幕
一九八六／昭和61年
▼レンズ付きフィルム発売
一九八八／昭和63年
▼ソ連、ペレストロイカ
一九八九／平成元年
▼消費税（三％）導入、天安門事件
一九九〇／平成2年
▼東西ドイツ統一
一九九一／平成3年
▼湾岸戦争勃発
一九九五／平成7年
▼阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件
一九九七／平成9年
▼香港、中国に返還
一九九八／平成10年
▼冬季オリンピック長野大会開催
一九九九／平成11年
▼特定非営利活動促進法（ＮＰＯ法）施行
二〇〇〇／平成12年
▼介護保険制度開始
二〇〇一／平成13年
▼アメリカ同時多発テロ
二〇〇二／平成14年
▼日韓共催二〇〇二ＦＩＦＡワールドカップ開催

思います。

小久保　企業で役職がつくと、自分で企画を作らなくなります。若い人が考えたものをチェックするぐらいだから、自分で資料さえ作れない。肩書きを外されると全然使えないという人が多いので、企業から出てきた人は再教育しなければいけません。企業人は誰でも多かれ少なかれ会社の意識を身につけていますが、それをなかなか消せない人と一年ぐらいで消せる人の違いが出てくると思いますね。

「団塊の世代」が地域に還ってくることで社会に影響はあると思いますか。

小久保　大量生産大量消費の担い手として、現代社会の悪い面をつくってきたのは団塊の世代だと言われることがあります。私たちはガンガン言って突き進むところがあるんです。一クラス五十人、一学年で十五組とか二十組とか今では考えられないような状況でした。そんな中で自分で何とかしなきゃというモチベーションが強かった。

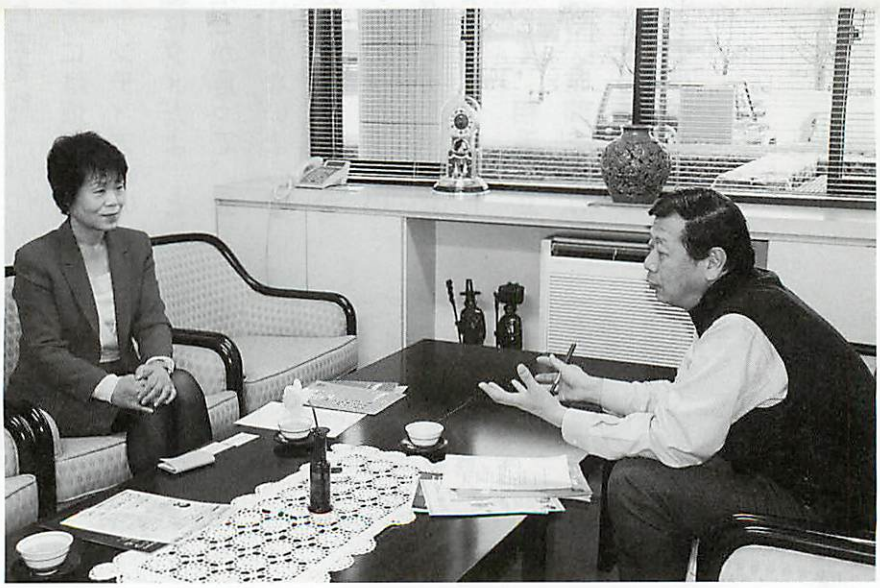
高田　自分たちは意識しなくても全体のボリュームも相まって社会に影響を与えてきたというのはありますね。

小久保　ただ、今度地域に還るときはバラバラに生活することになります。だから社会にさほど大きな影響を及ぼすとは思っていません。

最後に同世代の人たちに対してひとことお願いします。

小久保　年金も減額されるだろうし、悠々自適なんて言ってられません。市民活動に参加するにしても趣味の範囲でボランティアという余裕はないと思います。事業性を持った市民活動を作り出せるのがわれわれの世代だと思っています。一緒に頑張りましょう。

高田　男女共同参画センターを利用するグループには、男性のグループもあります。仕事以外に地域の活動も大事にしたいと、仕事の時のスタンスと活動をしっかり区切っておられる。肩書きを脱ぎ捨てて、駐車場係でも何でもしてくださいます。女性も子育てが終わった後、まだ二十年あります。自分はまだ小久保さんのように今後の具体的な道は見つかっていないのですけれど。「もう年だから」と自分でブレーキをかけたらダメ、何度でも挑戦したらいいと思うんです。「いつでも何度でも」、そういう気持ちを大事にしたいし、皆さんもそうして欲しいですね。



そこが知りたい！

NPO運営術 Vol.1

【質問】

NPOでパートタイマーを雇う場合、社会保険についてどのような届け出が必要でしょうか。

［回答］

法人格を持つNPOの場合は、正規職員を一人でも雇用すると社会保険の「適用事業所」になります。任意団体の場合でも常時五人以上の正規職員を雇用する場合は、「適用事業所」になり、社会保険（健康保険・厚生年金保険・介護保険）への加入が義務づけられています。

適用事業所に当てはまる場合は、「事業所新規適用届」と雇用する全職員の「被保険者資格取得届」等を社会保険事務所（大津・草津・彦根）に提出します。このとき「職員の年金手帳」、「法人の登記簿謄本」または「事業主の住民票」、「労働保険（雇用保険・労働保険）関係書類」、「労働者名簿」、「出勤簿」、「賃金台帳」などが窓口で必要です。

この手続を行うと、毎月NPOあてに保険料の納付書が届きますので、これをNPOと職員が折半して支払うことになります。月給十五万円（通勤費も含む）の職員で支払額は毎月約一万八千円ずつになります。

パートタイマーやアルバイトであっても、正規職員に比べた労働日数や時間が四分の三以上あるならば社会保険が適用されます。年収が百三十万円以下で他の家族の扶養家族になっている場合でも、適用条件を満たす場合は自分で社会保険に加入し、保険料を負担しなければなりません。

その後も職員採用のたびに「被保険者資格取得届」、扶養家族がある人は「被扶養者届」を、加入職員が退職するときには「被保険者資格喪失届」をNPOが提出します。

また、「適用事業所」は、毎年七月一日現在で在籍する被保険者全員について、過去三か月間の報酬額を社会保険事務所に報告（「報酬月額算定基礎届」）しますし、加入職員に賞与を支払ったときには、賞与額を報告します（「被保険者賞与支払届」）。賞与に対しても、後日保険料が請求されます。

その他、職員の氏名や住所、NPOの代表者に変更があるときなど、その都度届け出が必要になります。

これらの諸手続については、現在では電子申請（インターネットを利用した申請のこと。窓口に出向かなくてよい）を行うこともできます。

詳しくは社会保険庁のホームページ（http://www.sia.go.jp/index.htm）をご覧ください。

●淡海ネットワークセンターでは、NPOの会計・労務・税務について質問を受け付けています。詳しくは、9ページをご覧ください。

市民活動やNPOのツボ情報

孫の手ナビ

かゆい所に手が届く

Sekenよし

企業の社会貢献や市民・行政との協働etc.をご紹介

環境スローガン「自然も人もうれしい明日を。」を目指し、水源の森づくりやゴミゼロ運動、芸術文化活動などによる地域貢献に取り組んでいます。

滋賀工場は一九九一年に環境室を設置。一九九五年に副産物・廃棄物の百%再資源化を達成しゴミゼロ運動を推進し、一九九八年にISO14001認証を取得しました。一九九九年に全国十一工場でビールの重要な原料である水を守る活動として「水源の森づくり」を開始し、二〇〇四年には多賀町の高取山ふれあい公園（大滝山林組合）で地元小学生と共に苗木五百本の植林活動を行いました。

同年に施行された「琵琶湖森林づくり条例」の基本理念に則り、県や森林所有者と事業者が共同で行う活動の第一号として、二〇〇五年に大滝山林組合と「琵琶湖森林づくりパートナー協定」を締結。犬上川上流の約八二〇ヘクタールの広域の森林づくりのために、十年間にわたり三千万円の支援金を提供しました。

近畿一円の市民に森林保全に関心をもってもらうため、滋賀県湖東地域振興局森林整備課と協働で環境体験ツアーを実施（六月開催予定）。小中学生の工場見学の受入れでは、環境クイズや環境ビデオでわかりやすい環境学習支援を行っています。また、社員のボランティア活動も盛んで、犬上川や芹川周辺の環境美化活動や福祉施設のイベント等に積極的に参加しています。

芸術文化活動分野では、三月に「ビール五千年の旅」プロジェクトで日本初の川本幸民（三田出身の蘭学者）のビールを再現し試飲会を開催。五月～七月には「アジアの子どもたちの絵日記展」を開催します。また、毎年数回開催するガーデニング教室や陶芸教室なども人気を呼んでいます。

①総務部の高田清志さん
②桧の間伐材で作った「琵琶湖森林づくりパートナー」協定書
③地域の住民と水源林で植林活動
④陶芸教室

キリンビール（株）
滋賀工場環境安全室
TEL.0749-48-1211 FAX.0749-48-1659
http://www.kirin.co.jp/about/brewery/factory/siga/

元気NPO探し隊

GENKI SAGASHITAI

イキイキとした暮らしや、地域の魅力を創るために、ボランティアや市民活動を広めようと日夜奮闘している元気なNPOを探し出して、応援していきます。

5月18日「国際親善デー」

国際

ネグロス島支援の会（COCO椰子）

お互いに顔の見える関係を大切にした海外支援活動

ネグロス島は、リゾート地で有名なセブの隣にあります。太平洋戦争の日本の負の遺産を肌で感じた大津市の宮里三義さんが、現地の人の支援を目的にネグロス島に移住したことがきっかけで立ち上がった会です。会長の太田朗さんは、ネグロス島で終戦を迎えた元日本軍兵士でした。その経験から戦争時に日本がアジア諸国にかけた迷惑を償いたい、と宮里さんを支える活動を始めたのです。設立当初は現地の農民・漁民の生業を支援する事業を行いましたが、現在は奨学金制度で人材を育成しています。毎年二十人くらいの子どもたちが学用品や通学時の必要品

●奨学支援を受けている学生さんの生活記録

●聖愛幼稚園保護者のガレージセールの様子

5月20日「森林の日」

環境

淡海（おうみ）の杜（もり）の会（かい）

三井寺の老大木を元気にする活動が始まりました

「淡海の杜の会」は自然と人間が共生する知恵の宝庫としての「杜」に親しみ、学び、守り、知らせて、豊かな淡海を創造していこうと活動しています。県内外の鎮守の森を訪ね、森や環境の学習会、親子で自然に親しむ催しを開き、会報誌を発行しています。

ある日、メンバーの牛島彊さんは三井寺（園城寺）で一本のシイの大木に出会います。樹齢百年以上と思われるシイの木は、幹が空洞化し、枝は枯れ、葉を少しだけ残して、かろうじて生き延びていました。「一本だけで生えている。落ち葉を清掃してしまうので、

●会員の小畑さん（後列左）、田島さん（前列左）、牛島さん（前列右）、中西さん（後列右）

6月1日「人権擁護制度記念日」

福祉

特定非営利活動法人 あさがお

成年後見制度には、もっと多くの支え手が必要です

介護保険制度が始まって六年になります。介護保険は、利用者が介護サービスを選択し契約するものです。

しかし、利用者のなかには認知症や知的障害、精神障害などの理由で判断能力が十分でない方が少なくありません。こうした方々にとっては、自分に不利益な契約であってもよく理解できないことから悪質商法の被害に遭うおそれもあります。このような方々を保護し、支えるのが成年後見制度で、特定非営利活動法人あさがおは、こうした利用者の権利擁護に取り組むNPO法人です。

高齢者が抱える問題は複雑なことが多いことから、直接に当事者と出会っ

●所長の尾崎史さん

などの支援を受けています。ただお金を送っておしまいではなく、宮里さんが各家庭を訪問しながら何がその子に一番必要かを考えて支援し、しっかりした考え方を持てるように見守るのです。また、お互いに顔が見える関係を大切にされていて、高校生を含む会員の現地でのホームステイはこれまでに四十名が経験しています。子どもたちからのクリスマスの寄せ書きなど、本当に身近に感じられるような会報も継続されています。そして学びの場となるバンブーハウス、セミナーハウスが現地に完成しています。将来は、現地の若者に運営を任せる方向で考えられています。

残念ながら、戦争という悲しい過去は消えることはありません。しかし、ネグロス島支援の会の地道な活動は、その傷跡をいやすかのように新しい世代を育てています。不幸な関係であった二つの国の間に新しく良い縁を結んでいます。それは国がポンと寄付するお金ではなく、市民が自発的に出したお金なのです。会の設立目的である「日比親善の架け橋」という言葉の重みを感じました。

（編集ボランティア　幡　郁枝）

●会設立10周年を記念して、ネグロス島の青年2名を日本に招待（右端が宮里三義さん）

●代表の太田朗さん（右）
メンバーの川崎松男さん（左）

ネグロス島支援の会（COCO椰子）

代表●太田朗　設立●1995年　会員●6団体、181名（個人会員）
連絡先●大津市中央3-3-30　TEL：077-523-0558／FAX：077-523-6338

栄養がとれない。人間が踏み固めた地面は固くて苦しい。絶食状態でした」。

事務局の中西みどりさんは「老木や若い木、落ち葉、草があってこそ元気な森になります。人も過干渉や過保護が子どもの生きる力をそいでしまうのと同じで、森へのまちがった関わり方が自然の生命力を奪うのです」と、話します。

同会は、寺院の理解を得て、シイの大木を元気にする取り組みを始めました。踏まれて固くなった根の周りをやわらかく掘り返し、踏み固められないように根の周りを保護します。落ち葉が分解されて、その栄養が樹木に吸収されるように落ち葉を敷き詰めます。木の自然回復力を信じて、何十年もかけた息の長い取り組みです。

森林インストラクターの資格を取った田島卓明さんが「とりあえず、西洋文明からは脱却せんとね」と語ると、郷土を見直したいと参加している小畑光世さんは「杜を見れば見るほど、自然界の不思議を感じます」と話されました。みなさんの熱い思いが、シイの木を甦らせることでしょう。

（編集ボランティア　石川悠子）

●鎮守の森を訪ね、木に触れて観察する会員のみなさん

●三井寺境内広場のシイの老大木
木部が腐敗し、空洞が開いている

淡海の杜の会

会長●森川稔　設立●2004年5月　会員●37名
連絡先●大津市三井寺町2-33　TEL/FAX：077-522-9568

て、弁護士や各分野の専門家のアドバイスを基にした成年後見制度や福祉サービス利用援助などそれぞれに応じた対応をしています。適切な後見人がいない人のためには、あさがおが法人後見も行っています。所長の尾崎史さんは言います。「介護保険利用者は全国で三百万人。認知症の人は百六十万人おられます。それに対して成年後見制度の利用は三万人にとどまっているといったように、まだまだ利用が進んでいません。そのなかで利用者の権利侵害や悪質商法の被害が生まれているんです。」

あさがおには、これまで地域の関係者だけでは対応しきれない相談事案が数多く持ち込まれています。身体的な虐待や介護放棄、ときには親の財産を子どもが勝手に処分するといったような経済的な事案もあります。あさがおは、こういった事案に対して各種の専門機関と連携し利用者の権利擁護に取り組んでいます。

（編集ボランティア　松田達也）

●ピアザ淡海で開催したセミナー「生活を支える権利擁護」の様子

●年4回発行のニュースレター「あさがお」

特定非営利活動法人あさがお

理事長●鎌田昭二郎　設立●2005年2月　会員●128名・13団体
連絡先●大津市浜大津3丁目2-4　TEL：077-522-0799／FAX：077-522-0845

Ohmi net INFORMATION

NPO・市民活動団体・ボランティア団体の皆さんの会計・税務・労務の疑問にお答えします。

お聞きになりたいことをFAXかEメールでお知らせください。淡海ネットワークセンターを通じて、専門家（税理士・社会保険労務士）がお答えします。

◆会計／日々の仕訳記帳、財務諸表の作成、会計科目など
◆税務／所得税、法人税、消費税、源泉所得税など
◆労務／労災保険、雇用保険、健康保険、厚生年金保険、休業補償、就業規則、賃金、退職金、台帳整備など
◆相談の手順／お聞きになりたいことをFAXかEメールでお知らせください。

［記入すること］氏名／連絡先電話番号／所属するNPOの名称／FAX番号またはEメールアドレス／質問したいこと
［送付先］淡海ネットワークセンター
FAX：077-524-8442
e-mail ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

おうみ未来塾 第8期開講記念講義（一般公開）のお知らせ

◆おうみ未来塾第8期の入塾式と、日髙敏隆塾長による記念講義（一般公開）を行います（詳細は後日ホームページにてお知らせ）
◆講師／日髙敏隆 氏
（総合地球環境学研究所長）
◆日時／6月11日（日）午後
◆会場／県民交流センター　207会議室
（大津市におの浜1-1-20　ピアザ淡海2階）

NPOミニ講座のお知らせ

NPOの設立・運営についての講座を毎月第2、第4金曜日に開催します。NPO法人の設立を考えている方、団体の運営について分からない点のある方は、ぜひご参加ください。

◆開催日時／毎月第2・第4金曜日
14:00～15:00
＜5月·6月の開講日＞
5/12・5/26・6/9・6/23
◆開催場所／
淡海ネットワークセンター事務室
（ピアザ淡海2階）
◆内容／
・ガイダンス
・制度・手続き
（参加される方のご希望に合わせます）
・質疑、相談など

◎第2金曜日【講座テーマ】
NPO法人設立の手続きについて
・ＮＰＯ法人とは何か
・法人化のメリット・デメリット
・自分たちの活動に法人格は必要か
・法人設立のための準備・手続き

◎第4金曜日【講座テーマ】
NPOの組織運営について
・理事会・総会の運営
・会計について
・事業報告書の作成について

※参加費無料。事前申込みは不要です。
※案内役は、淡海ネットワークセンターのスタッフが務めます。

㊐淡海ネットワークセンター

おうみ市民活動屋台村2006 実行委員募集

淡海ネットワークセンターでは、市民が自主的に取り組むまちづくりやNPOの活動に対する理解を深め、活動への参加の輪を広げるために「おうみ市民活動屋台村2006」を開催します。

この“屋台村”の開催は、まちづくりや市民活動、NPOに関心のある皆さんとともに一緒につくりあげていこうと、実行委員会により企画・運営を進めていくことにしました。

この実行委員会のメンバーを次のとおり募集します。ふるってご応募ください。

◆募集人員／30名程度
◆応募期限／2006年5月20日（土）

おうみ市民活動屋台村の開催予定
と　き：2006年10月28日（土）・10月29日（日）
ところ：高島市内（実行委員会で決めます）

◆役割／催しの企画づくり・開催の準備と運営のうち、あなたができること
◆実行委員会日程／実行委員会は6月から10月まで7回程度開催します。
（平日の午後7時30分頃から2時間程度）

第1回実行委員会
と　き：2006年6月6日（火）19：30～
ところ：高島地域地場産業振興センター
（高島市新旭町旭1-10-1　JR湖西線新旭駅から徒歩1分）

◆交通費等：実行委員会議に出席するための交通費（実費）をお支払いします。
◆応募方法：氏名、所属、住所、電話、ファックス、Eメールアドレス、応募にあたっての抱負（100字程度）を記入の上、Eメール、郵送、ファックスにより送付してください。
※応募にあたりお知らせいただく個人情報は、当事業開催の目的のみに使用します。

㊐淡海ネットワークセンター

Relay Essay
おうみ未来塾生 リレーエッセイ

［1期生］
岡　佑里子さん
Glocal net Shiga事務局

目指すは「心のバリアフリー」

おうみ未来塾に参加したころ、わたしはまだ学生でした。その後、教員、青年海外協力隊のモロッコ派遣を経て、また滋賀県に戻ってきました。

今、「国際教育研究会 Glocal net Shiga」で国際教育ワークショップを開いたり、学校や各種団体でわたしたちの生活は世界につながっていること、3万人の外国人の住む滋賀県の現状などを伝えています。楽しみは小学生が外国に触れた感動を体感できること！

市民活動で活躍する先輩ばかりの1期生でわたしが選んだテーマは「バリアフリー」。たくさんのことを教えていただいた2年間でした。今後も各分野の方々と協働しながら市民活動を高めていけたら、と考えています。

※「おうみ未来塾」は、地域課題に取り組むリーダーを目指す人が集う塾で、現在7期生が学んでいます。これまでに約140人が卒塾し、各地で「地域プロデューサー」として活躍しています。

7・8月号の特集アンケート　テーマ：介護保険

アンケートにご回答いただける方は、性別・年齢をご記入の上、ハガキ、ファックスまたは電子メールで淡海ネットワークセンターまでご送付ください。住所・氏名をご記入いただいた方には抽選で粗品をプレゼントいたします。

▶アンケート締切：5月末日

Q1.あなたは、誰に介護してほしいですか？
a.配偶者　b.子　c.施設　d.その他

Q2.現在の介護保険についてどう思いますか？
a.安心　b.不安　c.考えたことがない

Q3.高齢社会に一番必要なのは？
a.公的サービス　b.民間サービス　c.地域の支え合い

支える・つなぐ・結ぶ情報BOX 5・6月

▶7月・8月の掲示板 情報募集中! 日時・場所・問合せ先等を明記の上、6月8日までにEメール、FAXまたは郵便でセンターまでお寄せください。

助成金情報

市民青少年交流助成

申請資格●日本国内の非営利団体であって、市民レベル・地域レベルの文化分野における活動に従事するもの(規約等により組織・責任体制が確立されており、代表者あるいは管理人の定めがあるものを含みます。)
助成対象事業●市民・青少年が事業の企画実施主体となり、2006年4月1日～2007年3月31日の間に実施、完了するセミナー、ワークショップなどの国際交流事業であって、以下の(1)又は(2)に該当するものを対象とします。対話・協働によるものを奨励します。(1) 文化分野における市民・青少年レベルの国際相互理解の促進を目的として、日本国内又は海外で実施されるもの。(2) 市民青少年交流の担い手の拡充と、ネットワークの構築による一層の交流発展につながるもの。
助成内容●事業参加者の国際航空賃(IATAエックスクラスを上限とします。)・国際船賃(居住地⇔事業実施地往復)及び滞在費を対象として助成します。
助成上限額●200万円
申請締切●6月1日(第2回募集／2006年9月～2007年3月実施分)

問 国際交流基金情報センター
TEL:03-5562-3538 FAX:03-5562-3534
http://www.jpf.go.jp/j/index.html

大津市まちづくりパワーアップ事業「活動支援事業」

内容●市民団体等が取り組む公益性、広域性のある、まちづくり活動を支援します。
対象団体●まちづくり活動を行う概ね10人以上の市民団体で規約等を定めていること。
支援内容●まちづくり活動に必要と認める経費を補助します。(団体運営経費、食料費、備品購入費等は対象外)
・補助率／3分の2以下 ・補助額／1事業100万円以下
募集期間●4月10日(月)～5月19日(金)

問 大津市企画調整課 TEL:077-528-2701 FAX:077-523-0460
e-mail:otsu1001@city.otsu.lg.jp http://www.city.otsu.shiga.jp/

大津市まちづくりパワーアップ事業「夢実現事業」

内容●まちの活性化の起爆剤となる新しい企画提案を募集、審査し、優れた企画の実現を支援します。
対象団体●大津のまちづくりに意欲のあるグループなら市内外を問わずどなたでも結構です。
支援内容●提案者が市と協働で実施するもの、市の経費支援を受けて自ら実施するものがあります。 市は対象経費の額の範囲内で補助します。原則として、100万円以上300万円以下です。
募集期間●4月10日(月)～5月19日(金)

問 大津市まちづくり政策課 TEL:077-528-2770
e-mail:otsu1303@city.otsu.lg.jp http://www.city.otsu.shiga.jp/

近江八幡市「NPO活動促進事業助成金」

内容●近江八幡市におけるNPO活動を促進するため、予算の範囲内で助成金を交付するものです。
①団体立ち上げ支援 ②事業支援
助成対象●近江八幡市内に事務所又は活動の拠点を置く特定非営利活動法人、または特定非営利活動法人に準ずる団体(特定非営利法人法別表に掲げる活動を行う団体)で、かつ市に登録した団体とします。
申請受付期間●第1期:4月1日(土)～5月31日(水) 第2期:10月1日(日)～11月30日(木)
助成金額●第1期:総額25万円 第2期:総額25万円

問 財団法人ハートランド推進財団事務局 〒523-0864 近江八幡市為心町元9番地(白雲館内)
TEL:0748-33-5510 FAX:0748-33-5697
http://www.biwa.ne.jp/~heart-l/

湖づくり活動の助成団体募集

内容●NPOや市民団体・グループ等が行う琵琶湖の保全につながる活動を広く募集し、優れた活動を支援します(活動例 山:広葉樹の植樹／川:生き物 調査と環境学習／里:農業排水路への魚道整備／湖:外来魚の駆除、ヨシの植栽)
助成額●1団体につき上限10万円(計100団体程度)
応募締切●第1次:4月21日(金) 第2次:6月23日(金) 第3次:8月25日(金)

問 滋賀県全国豊かなうみづくり大会準備室
TEL:077-528-3883 FAX:077-528-4899 http://www.pref.shiga.jp/g/umizukuri/

トヨタ財団「研究助成プログラム」

(1)研究助成
「くらしといのちの豊かさをもとめて」を基本テーマに公募いたします。
助成金額●1件当たり2,000万円(2年間)を上限とする
助成期間●2006年11月1日より1年間または2年間
公募期間●4月1日(土)～5月20日(土)
(2)アジア周縁部における伝統文書の保存、集成、解題(特定課題)
アジア周縁部の地方の伝統文書についての保存、集成、解題に対して助成を行うものです。助成金の最高限度額は、500万円(1年間)です。助成予定総額は1,500万円です。地元に根ざした人々と外部専門家の混成部隊による企画を歓迎いたします。
助成金額●1件当たり500万円を上限とする
助成期間●2006年11月1日より1年間
公募期間●4月1日(土)～5月20日(土)
(3)助成金が活きるとは(特定課題)
現在巨額の外部競争的資金が学問世界に流れ込んでくると共に、そこから生み出される研究成果をいかに評価するかが注目を集めています。論文の発表本数や引用回数などの計量的な評価とは別のものさしがあるのではないか、という課題に、「金(助成金)が活きる」とはという視角から迫る企画に助成を行います。助成予定総額は1,000万円です。専門研究者と、地域金融の実務経験者、公的な助成金あるいは民間助成金の実務担当者などの共同チームによる企画を歓迎いたします。
助成金額●1件当たり500万円を上限とする
助成期間●2006年11月1日より1年間
公募期間●4月1日(土)～5月20日(土)

問 財団法人トヨタ財団
〒163-0437東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビル37階 TEL:03-3344-1701
e-mail:admin@toyotafound.or.jp http://www.toyotafound.or.jp/default.htm

住宅関連環境行動助成事業

助成対象●団体・法人が行う、住宅に関連する環境対策の推進に資する次の4項目の活動。
①普及・啓発の活動②調査・研究の活動③ハード・ソフトの技術開発活動④緑化・美化活動
募集期間●4月1日～5月31日 助成金額●1件当たり30～100万円

問 社団法人住宅生産団体連合会 助成事業事務局
〒105-0001東京都港区虎ノ門1-6-6 暁翠軒ビル4階
TEL:03-3592-6441 FAX:03-3592-6464 http://www.judanren.or.jp/

第29回「24時間テレビ」福祉車両の寄贈

「24時間テレビ」チャリティー委員会では、福祉車両の寄贈申し込みを受け付けております。
応募締切●4月上旬～5月31日(水)(消印有効)

問 「24時間テレビ」チャリティー委員会事務局
〒105-7444東京都港区東新橋1-6-1日本テレビ内
TEL:03-6215-3008 http://www.ntv.co.jp/24h/index.html

新刊書籍案内

「持続不可能性 環境保全のための複雑系理論入門」
著／サイモン・レヴィン 訳／重定南奈子、高須夫悟
文一総合出版 2,800円＋税

サブタイトルどおり数理モデルを用いずに様々な比喩を取り上げて、時には深く、簡潔に話を展開している。著者は、地球規模での環境問題という大きな命題を、個体もしくは遺伝子レベルで働く"選択"によって集団ないし生物圏までの下位から上位のパターン形成とその変化が生まれると説明する。人類は、地球上のエコシステムの一員としては巨大な影響力を持っているため、自らの行動の選択によって引き起こす状況に対して、責任とコスト負担を覚悟しなくてはいけないという主張が底流に読める。おうみ未来塾塾長の日高敏隆さんのおすすめ本です。

滋賀会館シネマホール 5・6月の上映予定

『博士の愛した数式』5月9日(火)～14日(日)
『好きだ、』5月9日(火)～14日(日)
『あおげば尊し』5月9日(火)～21日(日)
『イノセント・ボイス 12歳の戦場』5月16日(火)～
『リトルランナー』5月16日(火)～
『かもめ食堂』5月23日(火)～

◆リクエスト受付中!
上映してほしい作品名と住所、氏名、電話番号を記入の上、ハガキ、ファックス、または電子メールで淡海ネットワークセンターまでお送りください。

・各回入替制
・料金は作品によって異なります
・毎週水曜日1,000円均一サービス
・毎週木・金曜日の初回&
16:00以降の回1,200円均一サービス
TEL:077-522-6191
滋賀会館シネマホール

伝言板に掲載できなかった情報は、センターのホームページに掲載しています。URL●http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net/

NPOカレンダー 5月・6月

木 THU	金 FRI	土 SAT	日 SUN
4 国民の休日	5 こどもの日 児童憲章制定記念日	6	7
11	12 看護の日	13 愛犬の日：日本警備犬協会	14 母の日
18 国際親善デー	19	20 森林の日	21
25	26	27	28
6月 1 人権擁護制度記念日	2	3	4 侵略による罪のない幼児犠牲者の国際デー
8	9	10	11
15	16 南アフリカの闘う人民との国際連帯デー	17 砂漠化および干ばつと闘う世界デー	18 父の日
22	23	24	25
29	30		

★ネットワークセンター休館日

NPOカフェ見聞録

地球や人にやさしい
スローなカフェを紹介します

コミュニティカフェ Be-cafe

女性のエンパワーメントを生かして誰もが気持ちよく過ごせる空間づくりを

Be-cafeはNPO法人びぃめ～る企画室が“誰もが気持ちよく過ごせる空間”を作ろうと、2004年11月にオープン。焙煎したての豆を注文ごとに挽いてたてるコーヒー（250円）、十穀米のランチプレート（500円）、ワンデイパティシエたちの日替わりパン・ケーキ（100円～）など女性ならではのアイデアとエンパワーメントを生かしたメニューが揃っています。また手作り品の販売や講座、イベントなどもあり、人・モノ・情報が集まるコミュニティとして今後の展開が楽しみな空間です。

【問】特定非営利活動法人
びぃめ～る企画室（Be-cafe）
栗東市駅前　ウイングプラザ2F
TEL.077-554-1774　FAX.077-554-1792
【10:00～18:00・月曜、祝日、第3日曜休】

2005年おうみNPO活動基金助成採択先

編集後記

認知症や知的障害者をターゲットにした悪徳商法がはびこる昨今。誰もが障害をもつ可能性を持って生きている中、決して人ごとではありません。そんななかで地域を足場に当事者の権利擁護にとりくむあさがおは心強い存在ですね。

（編集ボランティア　松田）

見せて頂いたネグロス島の写真には、慰霊碑、遺骨収集の場面、のどかな椰子の林と美しい南の海が数多く写されていて泣きそうになりました。セミナーハウスは慰霊塔を正面にながめるような方向で建てられているそうです。合掌。

（編集ボランティア　幡）

淡海ネットワークセンター （財）淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

■〒520-0801　大津市におの浜1-1-20
■TEL 077-524-8440　■FAX 077-524-8442
■http://www.biwa.ne.jp/~ohmi-net　■E-mail:ohmi-net@mx.biwa.ne.jp

ご利用日時●月曜日と祝日の翌日を除く毎日（12/29～1/3を除く）
火～金曜日／9:00～19:00　土・日曜日・祝日／9:00～17:00

※淡海ネットワークセンターの情報交流誌「おうみネット」は次のところに配布しています。
各地域振興局、県民情報室、県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、草津まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、栗東芸術文化会館さきら、滋賀銀行、滋賀県信用組合、郵便局（ボランティア貯金窓口）、公民館　など

※バックナンバーはホームページでご覧いただけます。
※最新情報はメルマガでお知らせしています。ご希望の方は上記メールアドレスまで。

©無断転載を固くお断りします。

この印刷物は、環境に配慮した再生紙、大豆油インキを使用し、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。